



中之町幼稚園だより

令和8年6月号

港区立中之町幼稚園

園長 酒井正美

水無月となりました。梅雨の時期を迎えます。晴れた日には、砂遊びや泥遊び、水を使った遊びを、雨の日には室内でも体を動かして遊べる工夫をしていきます。

大人にとっては、少し厄介なこともある梅雨ですが、この時期ならではの天候や自然物に興味や関心をもち楽しめるようにしていきたいと思います。

【遅刻をせず、気持ちのよいスタートを】

1学期も中盤となりました。子供たちは、幼稚園に来ると、自分のしたい遊びを見つけて、たっぴりと遊んでいます。遊びや生活を通して学ぶ幼稚園では、登園から降園までの時間は、学校の授業と同じです。朝のスタートも、日々の積み重ねが学びにつながる大切な時間です。友達が遊び始めている中、支度をするにならないよう、遅刻をせず、気持ちよい挨拶を交わして、主体的に遊びや活動が始められるといいですね。

遅刻には、「起きるのが遅くなってしまった」「家を出るまでに時間がかかってしまう」等々、個々に事情があることかと思えます。大人の時間に付き合わせることなく、「早寝、早起き、朝ごはん」を実践できるよう、就寝までの時間、朝の時間を工夫していきましょう。また、保護者の方のペースでお子さんを連れてくるのではなく、幼稚園での学びが始まる9時に遅れないように登園をしましょう。保護者の方と離れがたい、生活のリズムがなかなか整わないなど、お子さんの様子等については、担任、幼稚園と相談をしながら進めていきましょう。

【架け橋期の教育】

先日、保幼小合同研修会が行われました。サポート保育休止へのご協力をありがとうございました。当日は赤坂中学校を会場に、中之町幼稚園教員、赤坂小学校教員、近隣の公私立幼稚園、保育園の教職員が集まり、研修をしました。

中之町幼稚園5歳児の遊びの場面の動画を視聴し、各分科会で中之町幼稚園の教員が中心となり、「遊びの中の学び」や「小学校以降の学びとのつながり」について活発に協議が行われました。幼児期から義務教育、高等学校教育までつながる、生活や学習に必要な資質・能力「学びに向かう力・人間性等」「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力の基礎」は、幼児期の主体的な遊びや生活といった直接的・具体的な体験を通して一体的に育まれます。文部科学省では、5歳児と1年生の2年間で架け橋期として、幼児教育と小学校教育の一層の学びのつながりを目指しています。遊びの場面の動画には「どうすれば水が流れるかな」「こうやってみようよ」と幼児が友達や教師との温かな人間関係を基盤に、自分なりに考え、言葉で伝え、協力して遊びを進める姿がありました。「やってみたい」という主体的な活動の中に、学びがあること、学びを支える環境や教師の援助の重要性について協議し、架け橋期の教育について学びを深めました。

幼稚園、小・中学校の12年間のつながりを見据え、子供たちの学びを支えていきたいと考えます。